

# 平成23年度 函館市病院事業の経営実績

平成24年6月  
函館市病院局

# 目 次

## I. 平成23年度の経営状況

23年度当初に掲げた各目標値に対する実績を記載しています。

1 患者数等 .....	1 ページ
2 収支状況 .....	2～5 ページ
3 主な経営指標 .....	6～7 ページ

## II. 改革プランに基づく取組状況

23年度における収入確保、経費削減の主な取り組み実績を記載しています。

1 収入増加・確保対策 .....	8～11 ページ
2 経費削減・抑制対策 .....	12 ページ

## III. 改革プラン収支計画との比較

改革プラン収支計画と実績の比較を記載しています。

1 収支計画と実績の比較 .....	13 ページ
--------------------	--------

# I. 平成23年度の経営状況

## 1 患者数等

### ① 函館病院

入院患者数は、一般で1日平均485人の目標に対し16.3人下回り468.7人、新規入院患者数は、22年度の10,975人に対して130人増加し11,105人、年間平均在院日数は、22年度の15.3日に対し14.4日となっています。また、精神は65.2人の目標に対し1.2人下回り64人となっています。

外来患者数は、一般で1日平均1,086人の目標に対し18人上回り1,104人、精神は83.3人の目標に対し4.7人上回り88.0人となっています。

病床利用率は、一般で22年度の77.6%に対し3.7%下回り73.9%、そのうち一般病床(598床)については78.2%となっています。

区分	H23目標値A	H23実績B	差引B-A
入院患者数(一般)	485.0 人/日	468.7 人/日	△ 16.3 人/日
新規入院患者数	(H22実績 10,975人)	11,105 人	130 人
年間平均在院日数	(H22実績 15.3日)	14.4 日	△ 0.9 日
入院患者数(精神)	65.2 人/日	64.0 人/日	△ 1.2 人/日
外来患者数(一般)	1,086.0 人/日	1,104.0 人/日	18.0 人/日
" (精神)	83.3 人/日	88.0 人/日	4.7 人/日
病床利用率(一般634床)	(H22実績 77.6%)	73.9 %	△ 3.7 %
うち一般病床(598床)	(H22実績 81.9%)	78.2 %	△ 3.7 %
うち結核病床(30床)	(H22実績 6.5%)	3.5 %	△ 3.0 %
うち感染症病床(6床)	(H22実績 0.0%)	0.0 %	0.0 %

※函館病院病床数 [一般634床(一般病床598, 結核病床30, 感染症病床6), 精神100床]

### ② 恵山病院

入院患者数は、1日平均57人の目標に対し4.6人下回り52.4人となっています。

外来患者数は、1日平均83.9人の目標に対し6.7人下回り77.2人となっています。

病床利用率は、22年度の89.4%に対し2.1%下回り87.3%となっています。

区分	H23目標値A	H23実績B	差引B-A
入院患者数	57.0 人/日	52.4 人/日	△ 4.6 人/日
外来患者数	83.9 人/日	77.2 人/日	△ 6.7 人/日
病床利用率	(H22実績 89.4%)	87.3 %	△ 2.1 %

※恵山病院病床数 [療養60床]

### ③ 南茅部病院

入院患者数は、1日平均35人の目標に対し4.3人下回り30.7人となっています。

外来患者数は、1日平均116.7人の目標に対し3.2人下回り113.5人となっています。

病床利用率は、22年度の53.5%に対し1.5%下回り52.0%となっています。

区分	H23目標値A	H23実績B	差引B-A
入院患者数	35.0 人/日	30.7 人/日	△ 4.3 人/日
外来患者数	116.7 人/日	113.5 人/日	△ 3.2 人/日
病床利用率	(H22実績 53.5%)	52.0 %	△ 1.5 %

※南茅部病院病床数 [一般37床, 療養22床]

## 2 収支状況

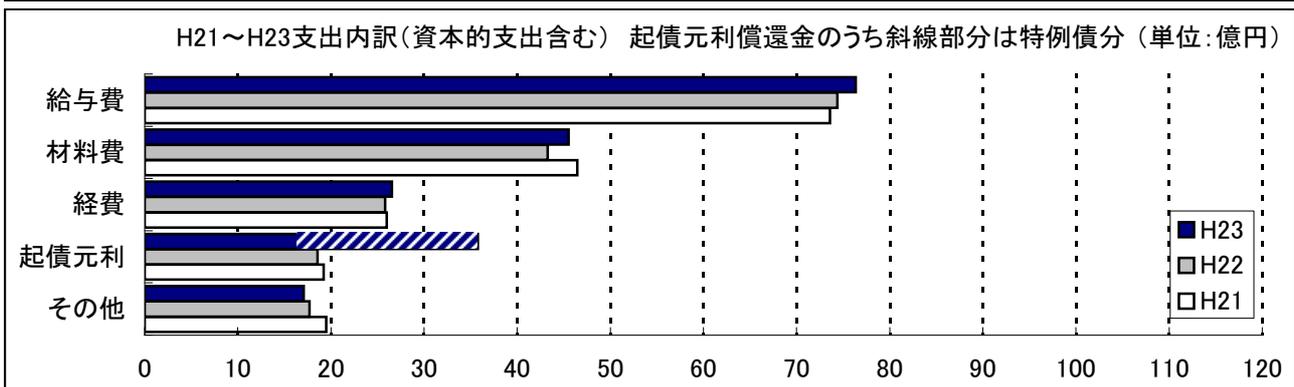
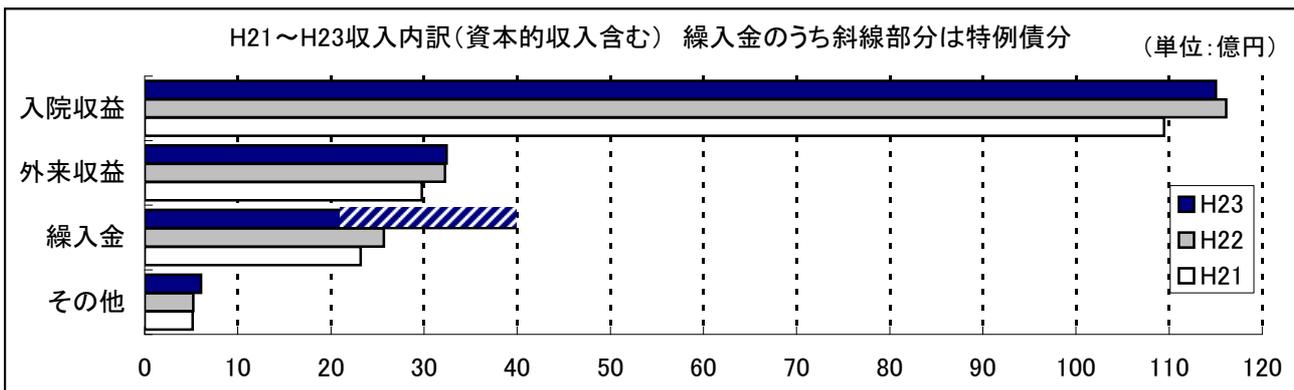
### ① 函館病院

平成23年度の実績(決算見込)は当年度財源過不足額が5億7,705万6千円の黒字となり、対前年比では8億2,660万9千円の減となっています。当初予算に対しては1億4,591万9千円のマイナスとなっています。

なお、H23決算見込の収入および支出の内訳は以下のとおりとなっていますが、医業外収益では、公立病院特例債繰上償還に係る一般会計繰入金(18億1,380万円)が含まれているほか、H22に改革プラン未達成分の支援のため一般会計より繰り入れされていた2億8,000万円は、一般会計と協議のうえ全額減額となっています。このほか資本的支出には公立病院特例債の繰上償還(18億1,380万円)分が含まれています。

(単位:千円)

科目		H22実績A	H23決算見込B	差引B-A	H23当初予算C	差引B-C
収益	入院収益	11,613,821	11,502,569	△ 111,252	11,471,611	30,958
	医業収益 外来収益	3,224,701	3,240,221	15,520	3,148,538	91,683
	その他	209,451	202,887	△ 6,564	200,146	2,741
	医業外収益ほか	2,021,045	3,517,791	1,496,746	2,290,803	1,226,988
	計	17,069,018	18,463,468	1,394,450	17,111,098	1,352,370
費用	給与費	7,436,957	7,634,417	197,460	7,799,653	△ 165,236
	医業費用 材料費	4,325,655	4,550,321	224,666	4,221,430	328,891
	経費	2,580,940	2,653,995	73,055	2,661,770	△ 7,775
	その他	1,380,776	1,341,293	△ 39,483	1,340,155	1,138
	医業外費用ほか	805,133	746,827	△ 58,306	824,047	△ 77,220
計	16,529,461	16,926,853	397,392	16,847,055	79,798	
収益－費用	539,557	1,536,615	997,058	264,043	1,272,572	
資本的収入	861,876	866,970	5,094	830,578	36,392	
資本的支出	1,437,903	3,195,820	1,757,917	1,729,752	1,466,068	
資本的収支差引	△ 576,027	△ 2,328,850	△ 1,752,823	△ 899,174	△ 1,429,676	
損益勘定留保資金	1,440,135	1,369,291	△ 70,844	1,358,106	11,185	
当年度財源過不足額	1,403,665	577,056	△ 826,609	722,975	△ 145,919	
一般会計繰入金	2,569,282	3,982,973	1,413,691			



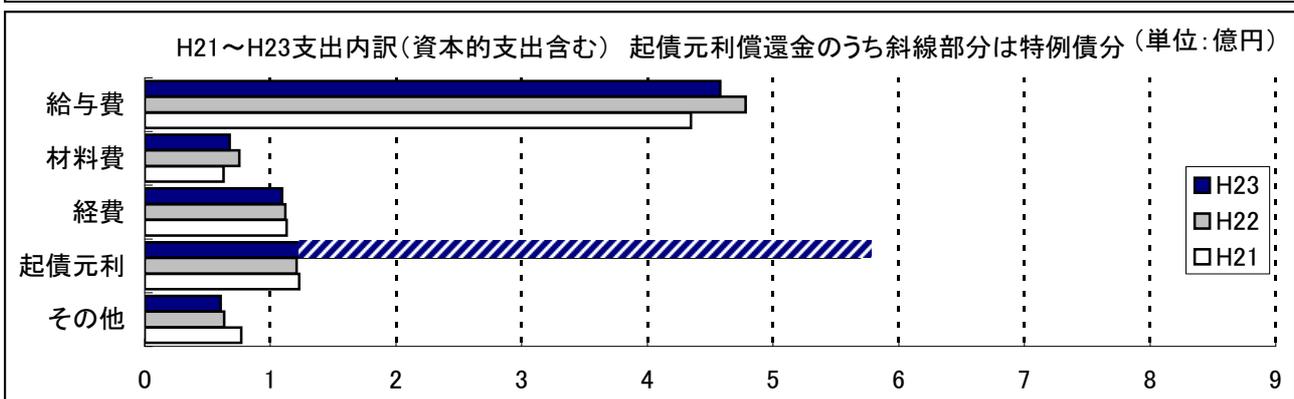
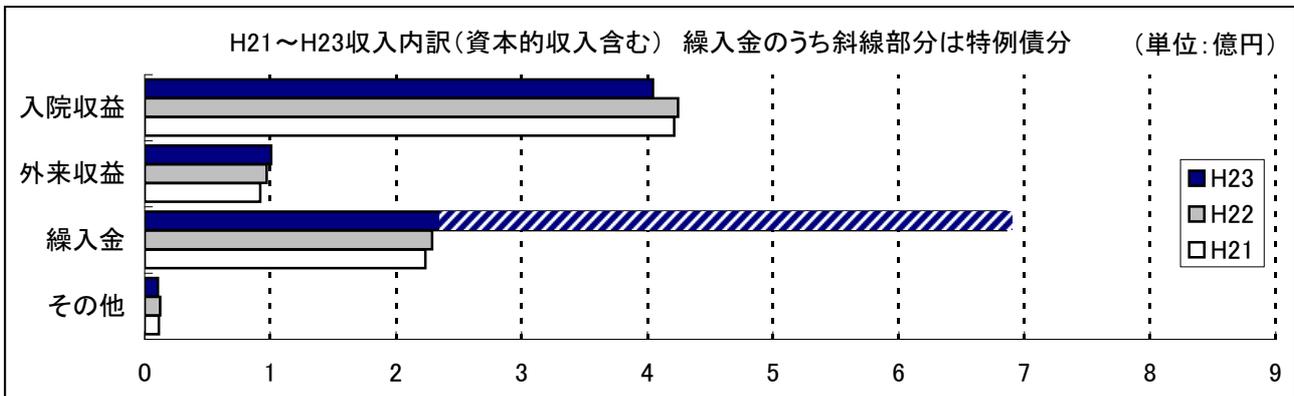
## ② 恵山病院

平成23年度の実績(決算見込)は、当年度財源過不足額が431万7千円の赤字となり、対前年比では2,200万8千円のプラスとなっています。当初予算に対しては1,263万7千円のマイナスとなっています。

なお、H23決算見込の収入および支出の内訳は以下のとおりとなっていますが、医業外収益では、公立病院特例債繰上償還に係る一般会計繰入金(4億4,860万円)が含まれているほか、資本的支出には公立病院特例債の繰上償還(4億4,860万円)分が含まれています。

(単位:千円)

科目			H22実績A	H23決算見込B	差引B-A	H23当初予算C	差引B-C
収益	医業収益	入院収益	424,449	404,395	△ 20,054	447,485	△ 43,090
		外来収益	97,110	100,565	3,455	97,448	3,117
		その他	11,161	9,784	△ 1,377	8,701	1,083
	医業外収益ほか		156,488	612,951	456,463	254,658	358,293
	計		689,208	1,127,695	438,487	808,292	319,403
費用	医業費用	給与費	478,057	457,827	△ 20,230	456,645	1,182
		材料費	75,213	67,522	△ 7,691	71,466	△ 3,944
		経費	111,884	109,448	△ 2,436	129,144	△ 19,696
		その他	58,229	56,285	△ 1,944	57,267	△ 982
	医業外費用ほか		18,960	17,320	△ 1,640	20,780	△ 3,460
計		742,343	708,402	△ 33,941	735,302	△ 26,900	
収益－費用			△ 53,135	419,293	472,428	72,990	346,303
資本的収入			73,233	73,323	90	73,324	△ 1
資本的支出			107,192	555,689	448,497	196,810	358,879
資本的収支差引			△ 33,959	△ 482,366	△ 448,407	△ 123,486	△ 358,880
損益勘定留保資金			60,769	58,756	△ 2,013	58,816	△ 60
当年度財源過不足額			△ 26,325	△ 4,317	22,008	8,320	△ 12,637
一般会計繰入金			228,677	685,495	456,818		



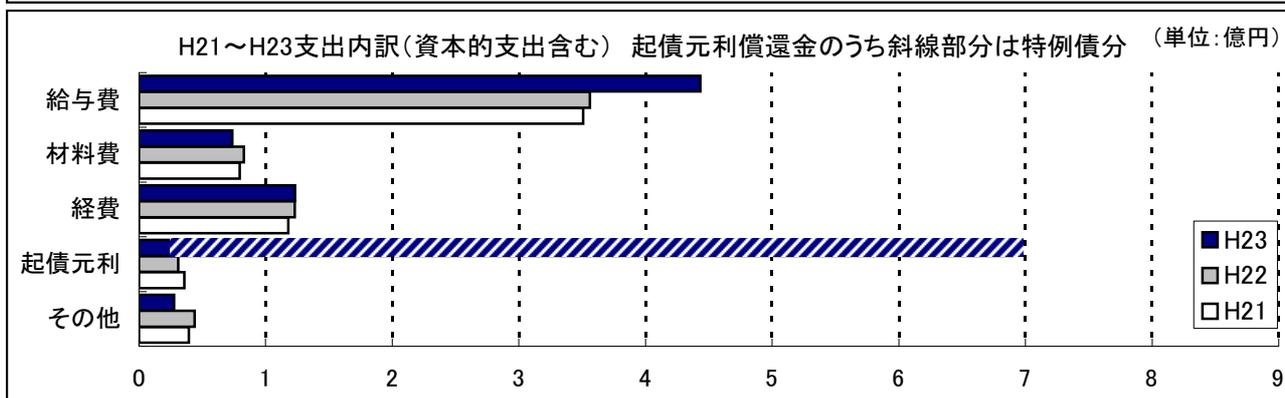
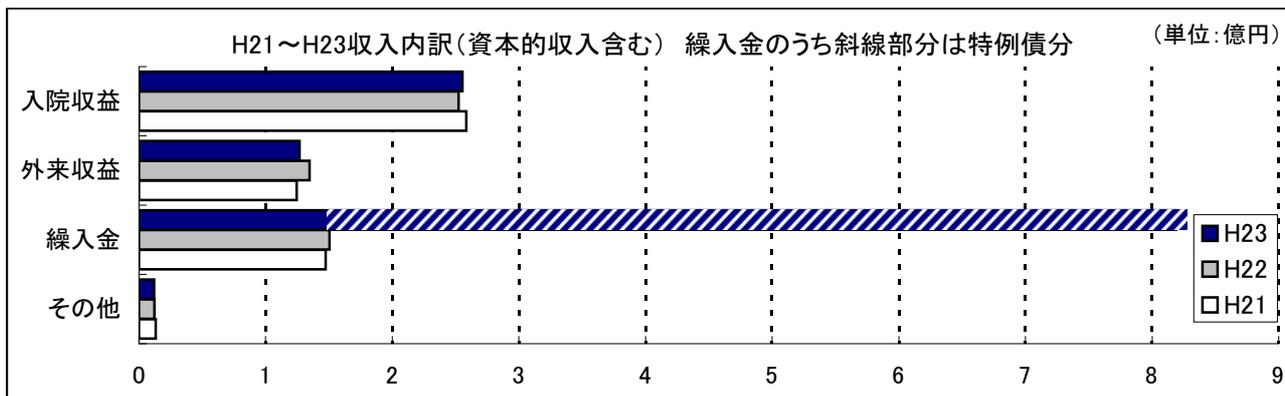
### ③ 南茅部病院

平成23年度の実績(決算見込)は,当年度財源過不足額が1億1,986万9千円の赤字となり,対前年比では5,641万3千円のマイナスとなっています。当初予算に対しては4,857万4千円のマイナスとなっています。

なお, H23決算見込の収入および支出の内訳は以下のとおりとなっていますが, 医業外収益では, 公立病院特例債繰上償還に係る一般会計繰入金(6億6,370万円)が含まれているほか, 資本的支出には公立病院特例債の繰上償還(6億6,370万円)分が含まれています。

(単位:千円)

科目			H22実績A	H23決算見込B	差引B-A	H23当初予算C	差引B-C
収益	医業収益	入院収益	252,298	255,396	3,098	288,119	△ 32,723
		外来収益	134,667	126,882	△ 7,785	133,266	△ 6,384
		その他	10,146	10,031	△ 115	9,274	757
	医業外収益ほか		140,694	811,655	670,961	281,051	530,604
	計		537,805	1,203,964	666,159	711,710	492,254
費用	医業費用	給与費	356,212	443,292	87,080	418,378	24,914
		材料費	82,731	73,664	△ 9,067	81,464	△ 7,800
		経費	123,013	123,298	285	126,674	△ 3,376
		その他	25,656	25,933	277	26,713	△ 780
	医業外費用ほか		29,673	12,767	△ 16,906	16,106	△ 3,339
計		617,285	678,954	61,669	669,335	9,619	
収益－費用			△ 79,480	525,010	604,490	42,375	482,635
資本的収入			11,817	9,306	△ 2,511	9,307	△ 1
資本的支出			19,632	678,384	658,752	147,425	530,959
資本的収支差引			△ 7,815	△ 669,078	△ 661,263	△ 138,118	△ 530,960
損益勘定留保資金			23,839	24,199	360	24,448	△ 249
当年度財源過不足額			△ 63,456	△ 119,869	△ 56,413	△ 71,295	△ 48,574
一般会計繰入金			150,352	819,018	668,666		



#### ④ 3病院合計

3病院を合計した病院事業全体では、23年度、当年度財源過不足額が4億5,287万円の黒字となり、対前年比では8億6,101万4千円の減となっています。当初予算に対しては2億713万円のマイナスとなっています。

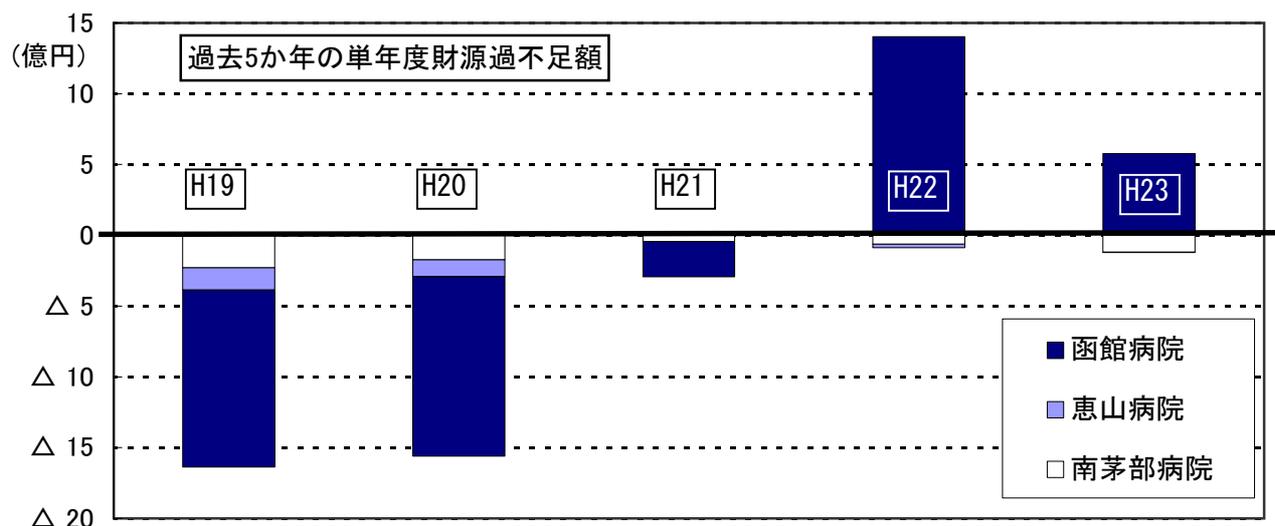
なお、H23決算見込の収入および支出の内訳は以下のとおりとなっていますが、医業外収益では、公立病院特例債繰上償還に係る一般会計繰入金(29億2,610万円)が含まれているほか、H22に改革プラン未達成分の支援のため一般会計より繰り入れされていた2億8,000万円は、一般会計と協議のうえ全額減額となっています。このほか資本的支出には公立病院特例債の繰上償還(29億2,610万円)分が含まれています。

また、参考として、過去5か年の単年度財源過不足額の推移を記載しています。

(単位:千円)

科目			H22実績A	H23決算見込B	差引B-A	H23当初予算C	差引B-C
収益	医業収益	入院収益	12,290,568	12,162,360	△ 128,208	12,207,215	△ 44,855
		外来収益	3,456,478	3,467,668	11,190	3,379,252	88,416
		その他	230,758	222,702	△ 8,056	218,121	4,581
	医業外収益ほか		2,318,227	4,942,397	2,624,170	2,826,512	2,115,885
計			18,296,031	20,795,127	2,499,096	18,631,100	2,164,027
費用	医業費用	給与費	8,271,226	8,535,536	264,310	8,674,676	△ 139,140
		材料費	4,483,599	4,691,507	207,908	4,374,360	317,147
		経費	2,815,837	2,886,741	70,904	2,917,588	△ 30,847
		その他	1,464,661	1,423,511	△ 41,150	1,424,135	△ 624
	医業外費用ほか		853,766	776,914	△ 76,852	860,933	△ 84,019
計			17,889,089	18,314,209	425,120	18,251,692	62,517
収益－費用			406,942	2,480,918	2,073,976	379,408	2,101,510
資本的収入			946,926	949,599	2,673	913,209	36,390
資本的支出			1,564,727	4,429,893	2,865,166	2,073,987	2,355,906
資本的収支差引			△ 617,801	△ 3,480,294	△ 2,862,493	△ 1,160,778	△ 2,319,516
損益勘定留保資金			1,524,743	1,452,246	△ 72,497	1,441,370	10,876
当年度財源過不足額			1,313,884	452,870	△ 861,014	660,000	△ 207,130
一般会計繰入金			2,948,311	5,487,486	2,539,175		

一般会計繰入金 2,948,311 5,487,486 2,539,175



(単位:千円)

区分	H19	H20	H21	H22	H23
函館病院	△ 1,251,906	△ 1,269,654	△ 249,922	1,403,665	577,056
恵山病院	△ 157,667	△ 118,933	11,164	△ 26,325	△ 4,317
南茅部病院	△ 230,227	△ 173,193	△ 44,799	△ 63,456	△ 119,869
3病院合計	△ 1,639,800	△ 1,561,780	△ 283,557	1,313,884	452,870

### 3 主な経営指標

#### ① 函館病院

【改革プランに掲げた目標とH23実績】

- ① 経常収支比率: H27までに100%以上→H23実績98.7%
- ② 職員給与費対比率: H21以降50%以下→H23実績45.6%
- ③ 病床利用率(一般): H24以降85%以上→H23実績78.2%

(単位: %)

区分	経常収支比率	医業収支比率	職員給与費対医業収益比率	材料費対医業収益比率	うち薬品費対医業収益比率	病床利用率(一般)
H18	86.0	84.8	48.5	32.1	16.6	84.1
H19	86.4	84.9	51.9	31.0	15.4	81.5
H20	86.2	84.6	52.1	31.2	13.9	73.6
H21	93.9	91.8	46.9	30.7	13.7	78.3
H22	102.1	99.4	44.0	26.9	11.7	81.9
(H23計画値)	(99.6)	(96.1)	(46.6)	(26.6)	(11.9)	(81.1)
H23実績	98.7	96.0	45.6	28.5	12.2	78.2

以下 平成21年度全国平均(500床以上の病院)

民間病院	103.9	104.3	46.8	26.1	15.5	—
公的病院(自治体以外)	101.9	102.0	48.2	30.2	19.1	—
公立病院(黒字)	102.4	94.3	49.2	27.6	14.0	85.6
公立病院(上位1/2)	102.0	94.7	49.2	27.9	14.0	85.8
公立病院(全体)	99.6	93.5	50.0	27.9	13.7	85.1

※ 各指標の算式(消費税抜き)

1. 経常収支比率  

$$\frac{\text{経常収益(医業収益+医業外収益)}}{\text{経常費用(医業費用+医業外費用)}} \times 100$$
2. 医業収支比率  

$$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$$
3. 職員給与費対医業収益比率  

$$\frac{\text{職員給与費}}{\text{医業収益}} \times 100$$
4. 材料費対医業収益比率  

$$\frac{\text{材料費}}{\text{医業収益}} \times 100$$
5. 薬品費対医業収益比率  

$$\frac{\text{薬品費}}{\text{医業収益}} \times 100$$

## ② 恵山病院

### 【改革プランに掲げた目標とH23実績】

- ① 経常収支比率: H23までに100%以上→H23実績95.9%
- ② 職員給与費比率: H23以降80%以下→H23実績75.2%
- ③ 病床利用率: H21以降95%以上→H23実績87.3%

(単位: %)

区分	経常収支比率	医業収支比率	職員給与費対医業収益比率	材料費対医業収益比率	うち薬品費対医業収益比率	病床利用率
H18	66.8	56.8	102.3	14.5	9.6	84.0
H19	70.0	59.6	93.6	13.8	7.6	85.3
H20	76.0	65.8	89.9	12.1	5.9	90.4
H21	96.1	80.2	72.3	11.1	5.1	96.1
H22	92.9	77.0	76.8	13.0	6.2	89.4
(H23計画値)	(97.9)	(81.0)	(69.7)	(11.9)	(5.5)	(95.0)
H23実績	95.9	77.9	75.2	12.1	5.4	87.3

## ③ 南茅部病院

### 【改革プランに掲げた目標とH23実績】

- ① 経常収支比率: H21までに100%以上→H23実績79.6%
- ② 職員給与費比率: H21以降80%以下→H23実績92.1%
- ③ 病床利用率: H21以降59%以上→H23実績52.0%

(単位: %)

区分	経常収支比率	医業収支比率	職員給与費対医業収益比率	材料費対医業収益比率	うち薬品費対医業収益比率	病床利用率
H18	76.4	69.7	58.1	49.6	44.2	77.9
H19	72.3	64.4	68.5	49.0	43.5	68.2
H20	68.5	56.9	91.4	20.4	11.7	59.3
H21	88.3	71.2	70.1	18.5	11.4	62.4
H22	89.5	71.6	70.2	19.1	12.1	53.5
(H23計画値)	(86.6)	(69.5)	(78.3)	(17.4)	(10.8)	(59.3)
H23実績	79.6	62.2	92.1	17.2	10.4	52.0

以下 平成21年度全国平均(50床以上100床未満の病院)

公立病院 (黒字)	102.8	87.9	59.3	22.2	15.6	75.3
公立病院 (上位1/2)	103.1	88.1	59.4	22.1	15.6	75.4
公立病院 (全体)	98.6	81.9	64.6	21.9	15.0	71.0

## Ⅱ. 改革プランに基づく取組状況

### 1 収入増加・確保対策

#### ① 函館病院医業収益

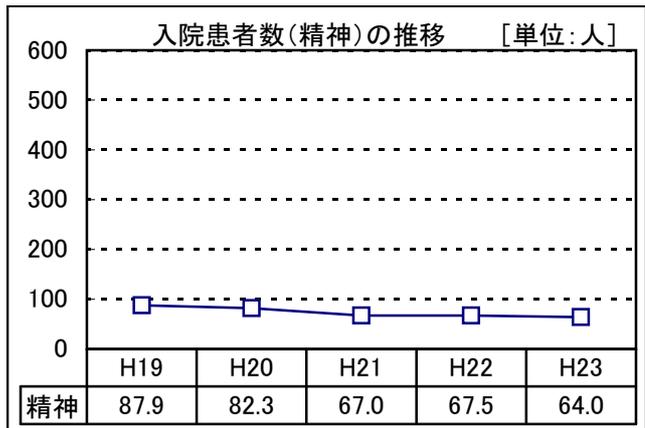
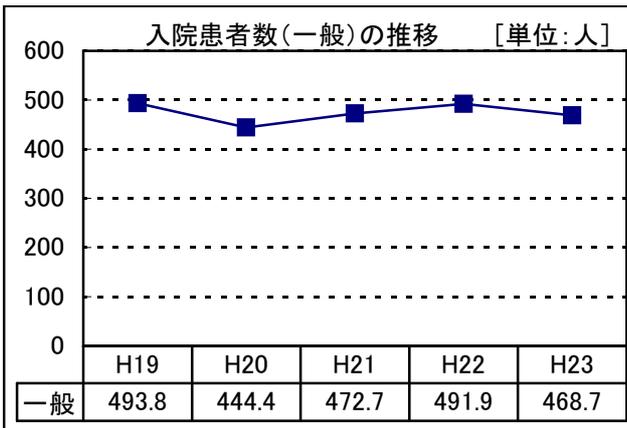
函館病院は、急性期病院としての役割を担うため、他の医療機関との連携を強化するとともに、救急医療、がん診療などの高度先端医療の提供に努めています。

23年度の1日平均入院患者数は、一般468.7人で22年度491.9人に対し23.2人の減、精神64.0人で22年度67.5人に対し3.5人の減となっています。

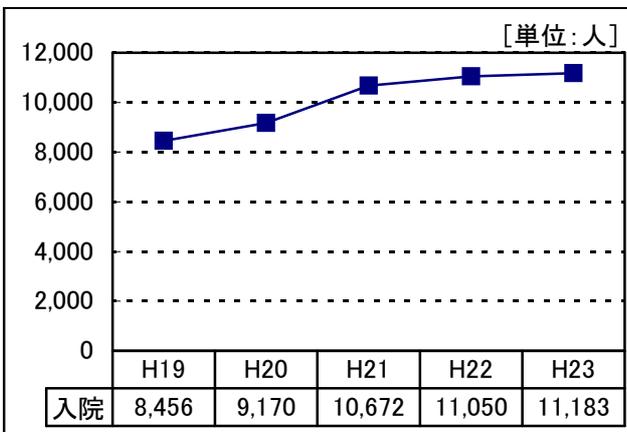
また、新規入院患者数は一般と精神を合わせて11,183人で22年度11,050人に対し133人の増、一般の年間平均在院日数は14.4日で22年度15.3日から0.9日の減となっています。

23年度の入院患者1人あたり診療単価は、一般で64,964.5円で22年度62,628.8円に対し2,335.7円の増、精神は15,276.8円で22年度15,012.5円に対し264.3円の増となっています。

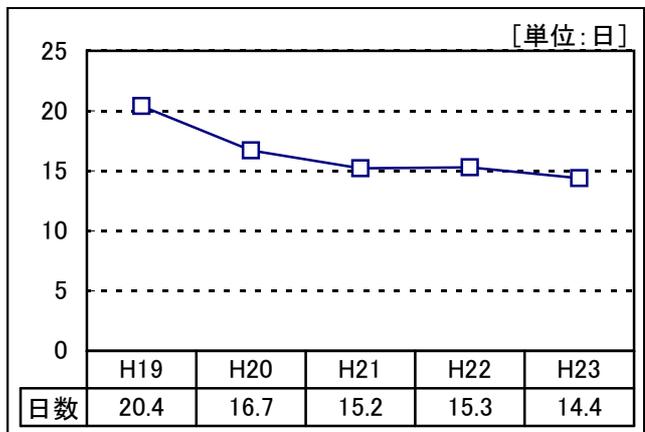
#### □ 入院患者数(1日平均)



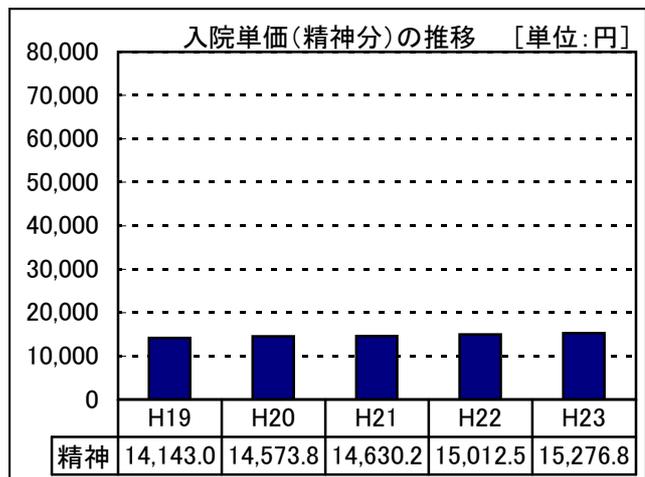
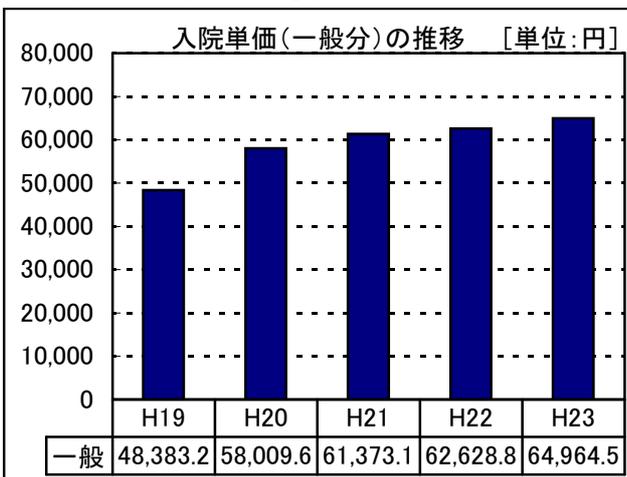
#### ・ 新規入院患者数



#### ・ 年間平均在院日数(一般)



#### □ 患者1人あたり入院診療単価

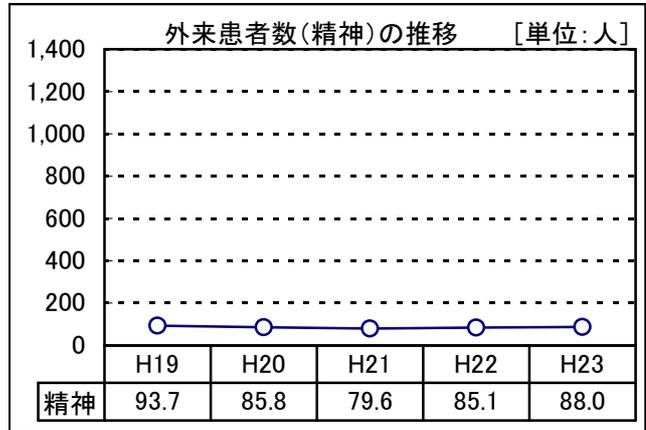
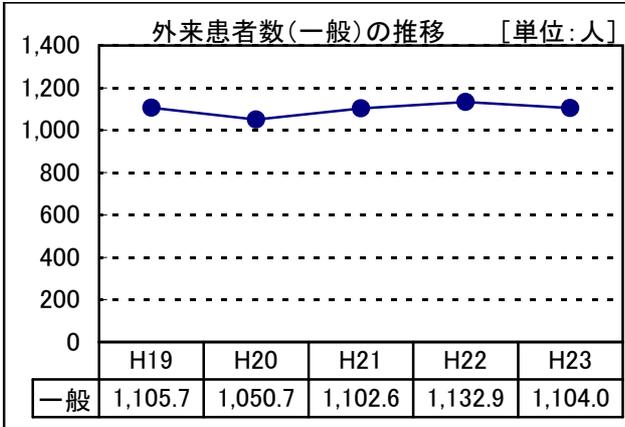


外来患者数は、1日平均、一般1,104.0人で22年度1,132.9人に対し28.9人の減、精神は88人で22年度85.1人に対し2.9人の増となっています。

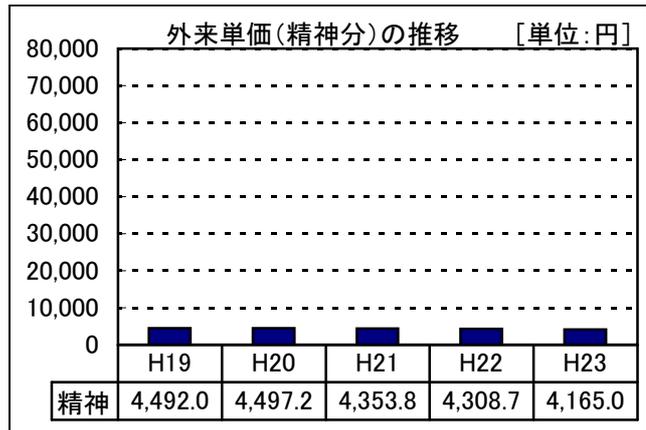
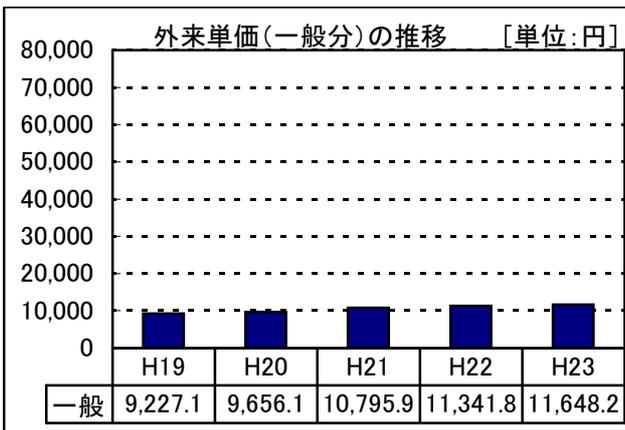
外来患者1人あたり診療単価は、一般で11,648.2円で22年度11,341.8円に対し306.4円の増、精神は4,165円で22年度4,308.7円に対し143.7円の減となっています。

また、平成23年10月からは初診時加算料の徴収を開始しています。

□ 外来患者数(1日平均)



□ 患者1人あたり外来診療単価



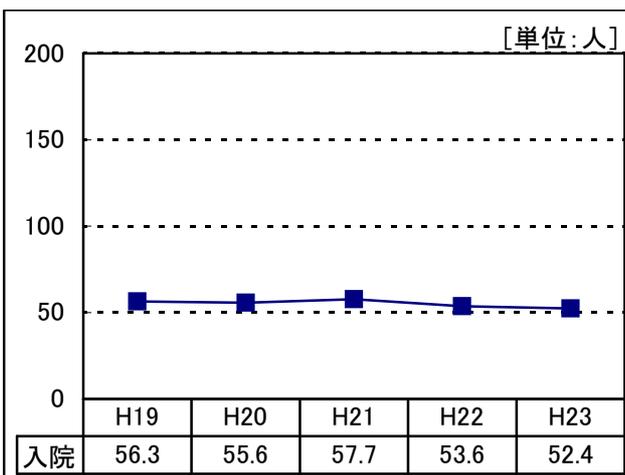
② 恵山病院医業収益

恵山病院では、これまでに引き続き透析患者の確保に努めています。

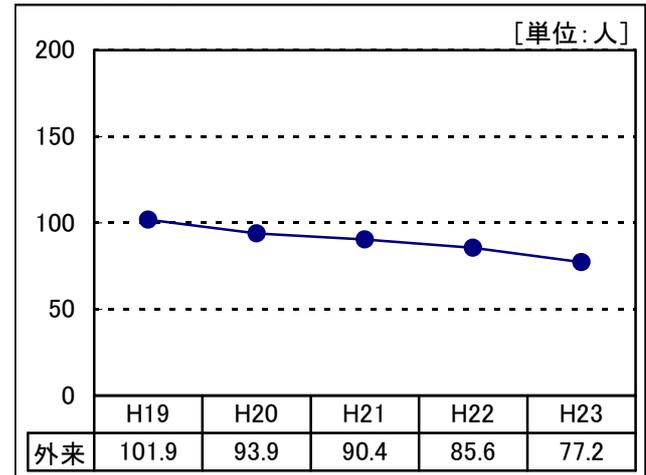
23年度の1日平均入院患者数は52.4人で22年度53.6人に対し1.2人の減、外来患者数は、1日平均77.2人で22年度85.6人に対し8.4人の減となっています。

23年度の入院患者1人あたり診療単価は、21,089.7円で22年度21,682.1円に対し592.4円の減、外来患者1人あたり診療単価は、5,336.7円で22年度4,671円に対し665.7円の増となっています。

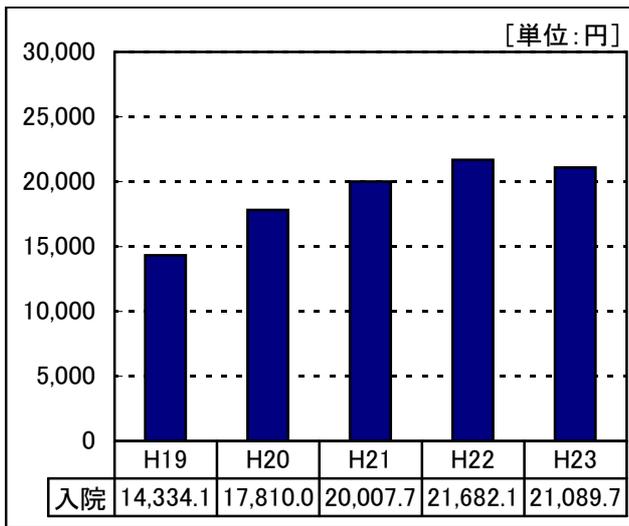
□ 入院患者数(1日平均)



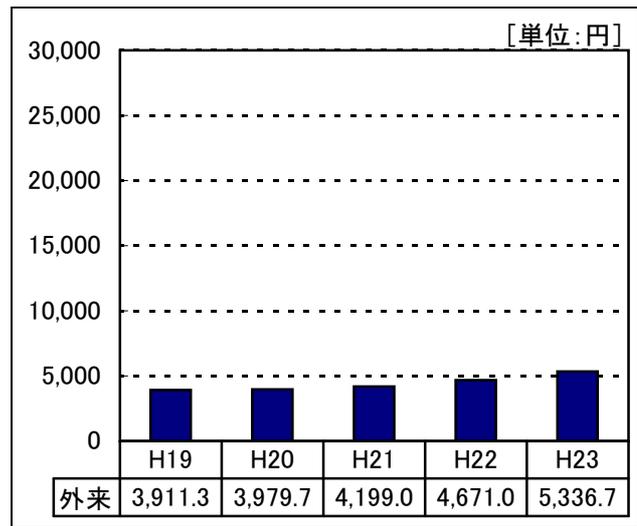
□ 外来患者数(1日平均)



□ 患者1人あたり入院診療単価



□ 患者1人あたり外来診療単価



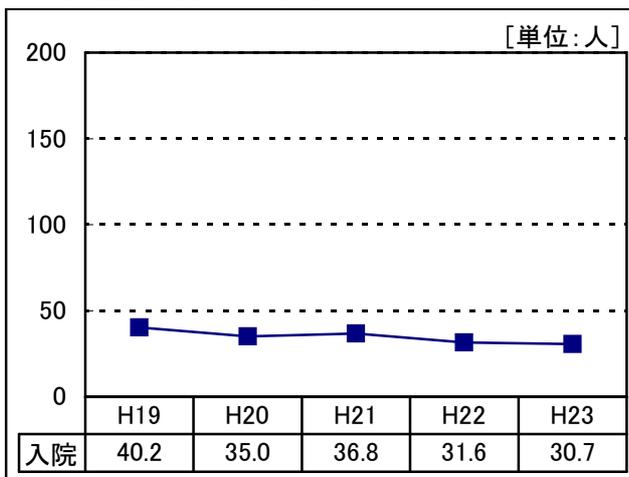
### ③ 南茅部病院医業収益

南茅部病院では、22年度は15対1入院基本料を算定していましたが、平成23年5月から上位の看護配置基準である13対1入院基本料を算定し、7月からは10対1入院基本料を算定しています。

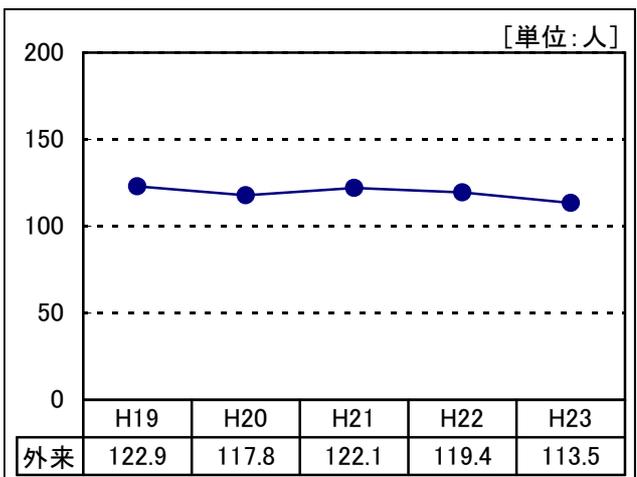
23年度の1日平均入院患者数は30.7人で22年度31.6人に対し0.9人の減、外来患者数は、1日平均113.5人で22年度119.4人に対し5.9人の減となっています。

22年度の入院患者1人あたり診療単価は、22,740.2円で22年度21,900.9円に対し839.3円の増、外来患者1人あたり診療単価は、4,582.4円で22年度4,640.3円に対し57.9円の減となっています。

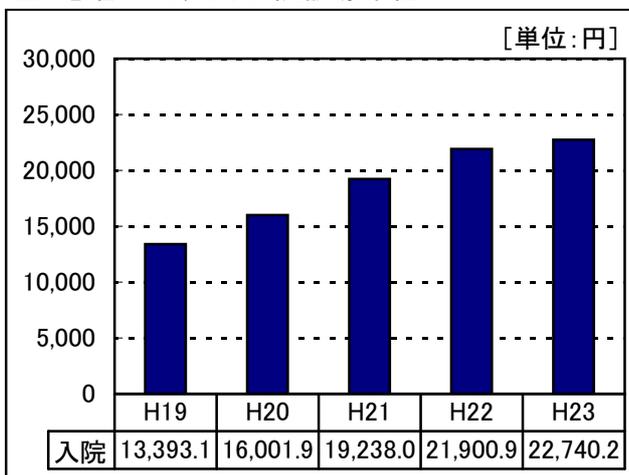
□ 入院患者数(1日平均)



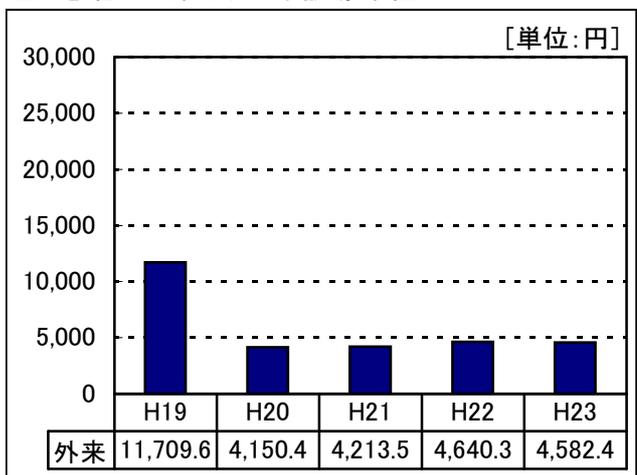
□ 外来患者数(1日平均)



□ 患者1人あたり入院診療単価



□ 患者1人あたり外来診療単価



#### ④ 未収金の縮減

函館病院では、未収金対策として、特に新規滞納を発生させないための取り組みとして、19年度から入院時説明コーナーの開設や夜間救急の即日徴収、休日退院の事前精算等の実施、納付相談の強化などを行っており、20年度にはクレジットカード納付の導入、22年度にはコンビニ納付を導入しています。また、未納者に対しては、内容証明郵便の送付や支払督促申し立てを行っていますが、未だ3億円を超える未収金があります。

函館病院の23年度の未収額は、352,673千円で22年度417,713千円に対し65,040千円の減となっています。なお回収不能な未収金63,386千円については不納欠損処分を行いました。

恵山病院の23年度の未収額は、3,871千円で22年度3,820千円に対し51千円の増となっています。なお回収不能な未収金41千円については不納欠損処分を行いました。

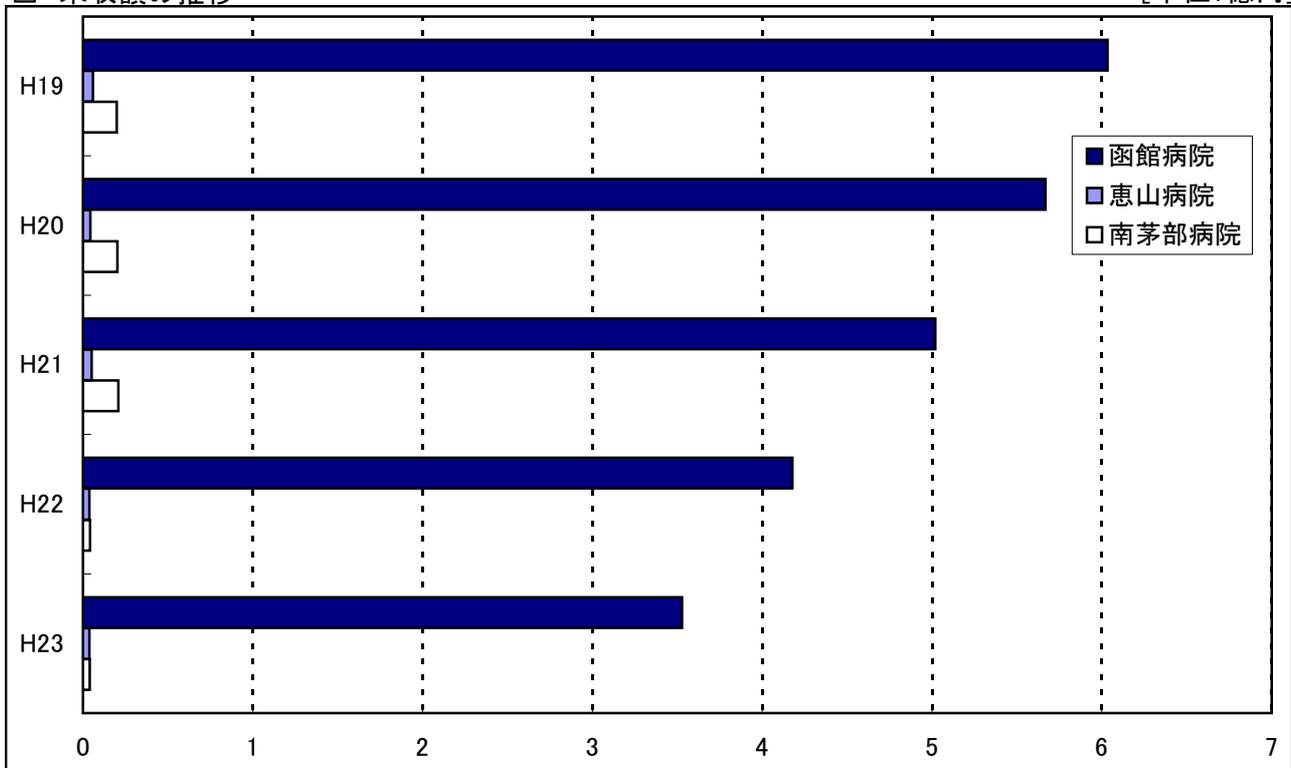
南茅部病院の23年度の未収額は、4,027千円で22年度4,252千円に対し225千円の減となっています。なお回収不能な未収金295千円については不納欠損処分を行いました。

[単位:千円]

区分	H19	H20	H21	H22	H23
函館病院	603,372	566,798	501,864	417,713	352,673
恵山病院	5,891	4,286	5,078	3,820	3,871
南茅部病院	19,900	20,334	20,847	4,252	4,027
3病院合計	629,163	591,418	527,789	425,785	360,571

#### □ 未収額の推移

[単位:億円]

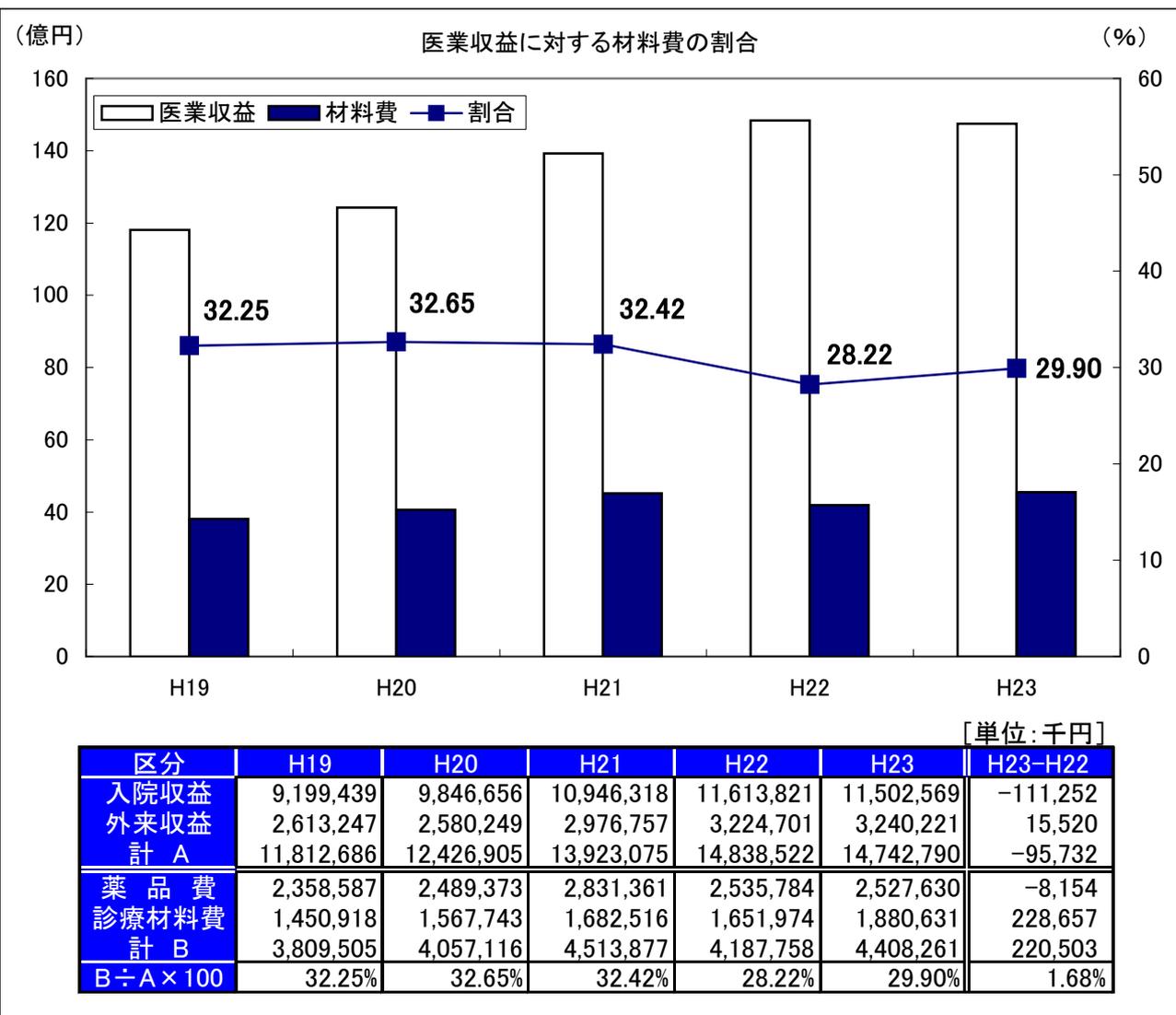


## 2 経費削減・抑制対策

### ① 医業収益に対する材料費の割合

材料費につきましては、薬品、診療材料の購入単価の引き下げや使用方法の見直し、ジェネリック医薬品の積極採用などに努めておりますが、函館病院の23年度実績は、医業収益(入院・外来収益)が対22年度95,732千円減収している一方で、薬品費と診療材料費を合わせた材料費は4,408,261千円で22年度に対し220,503千円の増となっています。医業収益に対する材料費の割合は29.9%となり、22年度28.22%に対し1.68%の増となっています。

また、ジェネリック医薬品の採用状況は、品目数ベースで23年度50.7%で22年度47.3%に対し3.4%上回っています。



※消費税込みの額で算出しているため6ページの材料費対医業収益比率とは一致しません。

#### 【ジェネリック医薬品の採用状況】

※品目数ベース

ジェネリック医薬品採用数 ÷ 使用薬品の内ジェネリック医薬品がある薬品数 × 100

H22. 3月末現在  
39.5%



H23. 3月末現在  
47.3%



H24. 3月末現在  
50.7%

### Ⅲ. 改革プラン収支計画との比較

#### 1 収支計画と実績の比較

改革プラン収支計画は、平成26年度末に累積財源不足額を解消し、27年度末には特例債の未償還残高を加えた累積不良債務を解消する計画です。不良債務比率が10%未満となる25年度の翌年26年度から、医療器械等更新のための企業債発行が可能となることを見込んでいます。

■改革プラン収支計画 (H23.2月改訂)								(単位: 百万円)
区 分	H21実績	H22計画	H23計画	H24計画	H25計画	H26計画	H27計画	
函館病院(単年度財源過不足額)	△ 250	870	923	521	667	314	261	
恵山病院(単年度財源過不足額)	11	△ 45	8	△ 49	9	△ 30	△ 28	
南茅部病院(単年度財源過不足額)	△ 45	△ 71	△ 71	△ 34	△ 86	△ 170	△ 149	
計	△ 284	754	860	438	590	114	84	
累積財源過不足額	△ 2,456	△ 1,702	△ 842	△ 404	△ 114	0	84	
〃 [特例債含む]	△ 5,382	△ 4,628	△ 3,183	△ 2,160	△ 1,285	△ 585	84	
不良債務比率(%)	35.0	29.2	19.8	13.4	8.0	3.6	△ 0.5	
一般会計繰入金(3病院計)	2,689	2,953	3,642	3,296	3,159	3,077	3,006	
特例債残高(〃)	2,926	2,926	2,341	1,756	1,171	586	0	
長期借入金残高(〃)	300	300	300	300	0	0	0	



上記計画のうちH23までの計画を実績(H23に公立病院特例債を全額繰上償還)に置き換え、H24は当初予算に置き換えて試算。

■試算 (H23計画860→実績453百万円)								(単位: 百万円)
区 分	H21実績	H22実績	H23実績	H24予算				
函館病院(単年度財源過不足額)	△ 250	1,403	577	350				
恵山病院(単年度財源過不足額)	11	△ 26	△ 4	△ 33				
南茅部病院(単年度財源過不足額)	△ 45	△ 63	△ 120	△ 42				
計	△ 284	1,314	453	275				
累積財源過不足額	△ 2,456	△ 1,142	△ 689	△ 414				
〃 [特例債含む]	△ 5,382	△ 4,068	△ 689	△ 414				
不良債務比率(%)	35.0	24.9	4.2	2.5				

#### ▼収支計画との主な相違点

- ① 公立病院特例債の繰上償還
  - 計画: 29億2,610万円をH23からH27の5か年で償還。
  - 実績: H23一般会計からの繰り入れにより29億2,610万円を全額繰上償還。
- ② 一般会計繰入金
  - 計画: 経営健全化分としてH21以降、毎年2億円を繰入。  
H22～23に改革プラン未達成分の支援のため2億8,000万円ずつ繰入。
  - 実績: H23から経営健全化分の2億円の繰入なし。また改革プラン未達成分はH23繰入なし。
- ③ 企業債
  - 計画: H26より計上。
  - 実績: H23特例債繰上償還により、不良債務比率が10%を下回ることから、H24より発行予定。
- ④ 地域医療再生計画事業費補助金
  - 計画: 計上なし。
  - 実績: H23からH25の3年間で約5億3,400万円の補助金の交付。
- ⑤ H24診療報酬改定 → 全体改定率+0.004%